

経営協議会・教育研究評議会合同会議議事要旨

日 時	平成24年 1月17日(火) 16:20~17:30
場 所	事務局大会議室
出 席 者	遠藤(学長・議長) (経営協議会) 藁科, 江羅, 花田, 一戸, 須藤, 岡井, 小田切, 小野, 武田, 三上の各委員 (教育研究評議会) 神田, 加藤, 大河原, 石堂, 四宮, 齊藤, 佐藤(敬), 中路, 對馬, 木田, 稲村, 竹ヶ原, 鮫島, 佐藤(三), 神本, 佐々木, 水沼, 木村, 長谷川, 牧野, 高梨, 中根, 杉山, 手塚, 上野の各評議員
役員等陪席者	南條学長特別補佐, 井口監事, 北川監事
法人内部監査室陪席者	本間法人内部監査室長
事務局・各学部等陪席者	千葉病院事務部長, 奈良岡総務課長, 齊藤企画課長, 池田人事課長, 栗野教務課長, 小田桐人文学部事務長, 長澤教育学部事務長, 村市医学研究科事務長, 山田保健学研究科事務長, 太田理工学研究科事務長, 亀谷農学生命科学部事務長, 古館総務課課長補佐, 澤田総務秘書G係長, 鳥潟総務秘書G係長, 川村総務秘書G 係員
配付資料	資料1 国立大学法人化後の総括

議事に先立ち, 学長から本合同会議開催に当たっての挨拶があった。

協議事項

協議1 国立大学法人化後の総括について

学長から, 資料1に基づき, 国立大学法人化後の総括について以下の事項毎に説明があった。

国立大学法人化以前

国立大学法人化, 第1期中期目標期間

国立大学法人 第2期中期目標期間

第1期から第2期中期目標・中期計画完遂へ向けてのこれまでの歩み

被ばく医療態勢と東京電力福島原子力発電所事故対応

弘前大学創立60周年記念事業

これからの弘前大学の進む方向

引き続き, 意見交換が行われ, 次のような意見があった。

国立大学法人化の厳しい環境の中で, 弘前大学はよく頑張ってきていると感じている。引き続き, 佐藤新学長のもと更なる発展を期待している。

日本一の地方大学として, また, 弘前大学の掲げている「世界に発信し 地域と共に創造する弘前大学」というモットーのようになりつつあると感じている。

当初は, 国立大学の法人化に疑問を持っていたが, 8年間の大学運営について順調に推移してきたことについて, 学長はじめ大学の教職員に敬意を表したい。

弘前大学に対する地元の期待が大きいと感じる。今後も, 多くの公認会計士や弁護士等を輩出していただきたい。

最後に学長から，経営協議会委員及び教育研究評議会評議員に対して，謝辞並びに今後の支援及び協力について要請があった。

また，次期学長となる佐藤敬医学研究科長・被ばく医療総合研究所長の紹介があり，佐藤次期学長から挨拶があった。

以 上